

三郷市在宅医療・介護多職種連携研修会 アンケート調査①（第1回研修会前）

多職種が連携した実践に対する、現在のあなたの気持ちや行動について率直にお答えください。

それぞれの設問について、「6. とてもよくあてはまる」から「1. まったくあてはまらない」で、該当する番号に○をつけてください。

番号	設問	6. とてもよくあてはまる	5. あてはまる	4. ややあてはまる	3. ややあてはまらない	2. あてはまらない	1. まったくあてはまらない
1	多くの専門職と連携して働くことは自分の援助をより良くすることにつながる	6	5	4	3	2	1
2	多くの専門職が連携することは、利用者家族へのより良い援助を提供することにつながる	6	5	4	3	2	1
3	多職種で連携することは手間と時間がかかるので、できるだけ自職種で対応する方が良い	6	5	4	3	2	1
4	自職種の求められる役割機能を果たしていれば、他職種と連携する必要はない	6	5	4	3	2	1
5	利用者の幸せを考えることが最優先事項である	6	5	4	3	2	1
6	自職種の強みを他職種に説明できる	6	5	4	3	2	1
7	在宅医療介護に関わる多職種の役割機能を理解している	6	5	4	3	2	1
8	在宅医療介護に関わる多職種の役割機能を発揮して地域の課題に取り組んでいる	6	5	4	3	2	1
9	利用者に関する情報を他の職種と共有し、共通の目標を設定できる	6	5	4	3	2	1
10	利用者に関する情報の伝達が困難な時がある	6	5	4	3	2	1
11	利用者に関する情報の伝達が困難な職種がある	6	5	4	3	2	1
12	自分が持っている情報を、他の専門職が必要に応じて得られるようにしている	6	5	4	3	2	1
13	他の専門職が相談しやすいように心がけている	6	5	4	3	2	1
14	他の専門職との心理的な距離を感じることもある	6	5	4	3	2	1
15	相談しにくいと感じる他職種がある	6	5	4	3	2	1
16	三郷市の医療介護連携に積極的に関わりたい	6	5	4	3	2	1
17	三郷市の医療介護に関わる課題について、多職種が連携することで解決できそう	6	5	4	3	2	1

三郷市在宅医療・介護多職種連携研修会 アンケート調査②（第1回研修会後）

1日目の研修、お疲れさまでした。本日の研修について、感想をお聞かせください。それぞれの設問について、「4. とてもそう思う」から「1. そう思わない」で、該当する番号に○をつけてください。

番号	設問	4. とても そう思う	3. そう思 う	2. あまり そう思わな い	1. そう思 わない
①	研修を通して新たな発見があった	4	3	2	1
②	講義を通じ、三郷市の多職種連携上の課題を確認することができた	4	3	2	1
③	グループワークの時間が適切であった	4	3	2	1
④	グループワークは落ち着いて話し合える環境であった	4	3	2	1
⑤	グループワークの内容が難しかった	4	3	2	1
⑥	グループワークでは、お互いの考えを率直に述べることができた	4	3	2	1
⑦	グループワークでは、各メンバーがお互いのことを知ろうと努力した	4	3	2	1
⑧	今日の学びを明日から実践したい	4	3	2	1

あなた自身について、教えてください。1～12の職種のうち、現在、主として従事している職種1つに○をつけてください。「12. その他」に○をつけた方は、()にその職種を具体的にお書きください。また、○をつけた番号以外に、1～11に該当する資格をお持ちの方は、 内にその番号をすべてお書きください。1～11の中にお持ちの資格がない場合には、その資格を具体的にお書きください。

(1) 職種

1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師 4. 看護師 5. 理学療法士 6. 作業療法士
7. 言語聴覚士 8. 介護福祉士・ホームヘルパー 9. ケアマネジャー
10. 医療相談員 11. 地域包括支援センター職員
12. その他 ()

(2) 年代

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

(3) これまで在宅医療介護に関わった経験年数

1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上15年未満 4. 15年以上

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

三郷市在宅医療・介護多職種連携研修会 アンケート調査③（第2回研修会後）

2日目の研修、お疲れさまでした。最後に研修を評価するためのアンケートにご協力をお願いします。

1. 本日の研修の感想をお聞かせください。

それぞれの設問について、「4. とてもそう思う」から「1. そう思わない」で、該当する番号に○をつけてください。

番号	設問	4. とても そう思う	3. そう思 う	2. あまり そう思わな い	1. そう思 わない
①	研修を通して新たな発見があった	4	3	2	1
②	グループワークの時間が適切であった	4	3	2	1
③	グループワークは落ち着いて話し合える環境であった	4	3	2	1
④	グループワークの内容が難しかった	4	3	2	1
⑤	グループワークでは、お互いの考えを率直に述べることができた	4	3	2	1
⑥	グループワークでは、各メンバーがお互いのことを知ろうと努力した	4	3	2	1
⑦	今日の学びを明日から実践したい	4	3	2	1

2. 多職種が連携した実践に対する、現在のあなたの気持ちや行動について率直にお答えください。

それぞれの設問について、「6. とてもよくあてはまる」から「1. まったくあてはまらない」で、該当する番号に○をつけてください。

番号	設問	6. とて もよく あては まる	5. あて はまる	4. やや あては まる	3. やや あては まらな い	2. あて はまら ない	1. まっ たくあ てはま らない
1	多くの専門職と連携して働くことは自分の援助をより良くすることにつながる	6	5	4	3	2	1
2	多くの専門職が連携することは、利用者家族へのより良い援助を提供することにつながる	6	5	4	3	2	1
3	多職種で連携することは手間と時間がかかるので、できるだけ自職種で対応する方が良い	6	5	4	3	2	1
4	自職種の求められる役割機能を果たしていれば、他職種と連携する必要はない	6	5	4	3	2	1
5	利用者の幸せを考えることが最優先事項である	6	5	4	3	2	1
6	自職種の強みを他職種に説明できる	6	5	4	3	2	1

2. (つづき)

番号	設問	6. とてもよくあてはまる	5. あてはまる	4. ややあてはまる	3. ややあてはまらない	2. あてはまらない	1. まったくあてはまらない
7	在宅医療介護に関わる多職種の役割機能を理解している	6	5	4	3	2	1
8	在宅医療介護に関わる多職種の役割機能を発揮して地域の課題に取り組んでいる	6	5	4	3	2	1
9	利用者に関する情報を他の職種と共有し、共通の目標を設定できる	6	5	4	3	2	1
10	利用者に関する情報の伝達が困難な時がある	6	5	4	3	2	1
11	利用者に関する情報の伝達が困難な職種がある	6	5	4	3	2	1
12	自分が持っている情報を、他の専門職が必要に応じて得られるようにしている	6	5	4	3	2	1
13	他の専門職が相談しやすいように心がけている	6	5	4	3	2	1
14	他の専門職との心理的な距離を感じることもある	6	5	4	3	2	1
15	相談しにくいと感じる他職種がある	6	5	4	3	2	1
16	三郷市の医療介護連携に積極的に関わりたい	6	5	4	3	2	1
17	三郷市の医療介護に関わる課題について、多職種が連携することで解決できそうだと感じる	6	5	4	3	2	1

3. 研修会に参加した感想をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

プロジェクトの検討経緯

2016年	7月13日	三郷市との打ち合わせ（プロジェクトの提案）
	8月18日	三郷市幹部、三郷市在宅医療・介護連携推進協議会会長等への説明
	9月1日	三郷市による説明（三郷市の状況）
	9月29日	三郷市在宅医療・介護連携推進協議会がプロジェクト実施を了承
	10月12日	学内打ち合わせ（ヒアリング方法の検討）
	10月19日	〃
	10月20日	ヒアリング（地域包括支援センター長）
	12月14日	ヒアリング（薬局薬剤師）
	12月19日	ヒアリング（ケアマネジャー）
	12月21日	ヒアリング（医師）
	2017年	1月13日
1月20日		ヒアリング（理学療法士・作業療法士）
2月1日		ヒアリング（介護福祉士・ホームヘルパー）
2月7日		学内打ち合わせ（ヒアリング結果の分析）
2月14日		ヒアリング（歯科医師）
3月13日		学内打ち合わせ（ヒアリング結果の分析）
4月7日		三郷市との打ち合わせ（今後の進め方）
4月13日		学内打ち合わせ（ヒアリング結果の分析）
4月20日		〃
4月27日		〃
5月18日		三郷市、三郷市在宅医療・介護連携推進協議会会長等への説明
5月25日		学内打ち合わせ（作業方針の確認）
6月1日		学内打ち合わせ（研修プログラム案の検討）
6月8日		〃
6月14日		〃
6月19日		〃
6月22日		〃
6月28日		〃
6月30日		第1回三郷市在宅医療・介護多職種連携研修プログラム検討委員会
7月6日		三郷市在宅医療・介護連携推進協議会への説明
7月10日		学内打ち合わせ（第1回研修会の準備）
7月20日		第2回三郷市在宅医療・介護多職種連携研修プログラム検討委員会
7月27日		学内打ち合わせ（第1回研修会の準備）
8月30日		〃
9月1日		〃
9月13日		〃
9月27日		三郷市との打ち合わせ（第1回研修会の準備）
10月12日		学内打ち合わせ（第1回研修会の準備）
10月21日		第1回研修会の開催
11月22日		学内打ち合わせ（第2回研修会の準備）
11月27日	〃	
12月9日	第2回研修会の開催	
2018年	1月18日	学内打ち合わせ（研修効果の分析）
	1月29日	学内打ち合わせ（報告書案の検討）
	2月9日	第3回三郷市在宅医療・介護多職種連携研修プログラム検討委員会

プロジェクトの参加者・協力者

○ 公立大学法人埼玉県立大学

研究代表者	伊藤 善典（保健医療福祉学部社会福祉子ども学科教授） 新井 麻紀子（同看護学科助教） 井上 和久（同理学療法学科准教授） 柴山 志穂美（同看護学科准教授） 鳶末 憲子（同社会福祉子ども学科准教授） 丸山 優（同看護学科講師） ※佐藤 晋爾（現筑波大学医学部教授、2016年度まで参加）
事務局	海老原 直子 小助川 亜依子

○ 三郷市

市長	木津 雅晟
副市長	並木 一徳
福祉部長	増田 道夫
福祉部副部長	森 泰子
ふくし総合支援課	谷口 寿美枝 元井 隆幸 八巻 絢子 板垣 美慧

○ 三郷市在宅医療・介護連携推進協議会

会長	谷口 聡
副会長	秋葉 明

○ 在宅医療・介護における多職種連携研修プログラム検討委員会

委員長	谷口 聡
-----	------

○ 一般社団法人三郷市医師会、三郷市在宅医療・介護連携サポートセンター

事務長	安保 順子
-----	-------

○ ヒアリング協力者（41名）

○ 研修会参加者（76名）